

# 数 学

## 1. 予習をしよう 3分読むだけで授業がわかりやすくなる！

次の授業で学習する教科書2ページ分に目を通します。わずか3分読むだけで、「次の授業の内容をつかむ」ことができます。

読んでわかりにくかったところはチェックをして、授業中はそこを重点的に聞くようにしましょう。重点的に聞くことで内容がわかりやすくなります。授業直前でもよいので、ぜひ授業前に読んでみてください。



## 2. 復習をしよう 「わかった問題」を「できる問題」にする！

数学では、授業で「わかった」と思っている、自分でやると「できない」ことがたくさんあります。授業があった日は必ず家で復習をしましょう。その日の授業で習った教科書の問題を家でもう一度解いてみるのです。また、授業で習ったところの数学演習や計算練習をやってみましょう。

毎日少しずつすることが長く続けるコツです。家でやってみてできない問題があれば、次の日、必ず先生や友だに解き方を聞いて自分でできるようにしましょう。

これができたら、テスト前までに数学演習や計算練習が1回できます。そしてテスト前にもう一度やると、数学演習や計算練習を2回できるので理解は深まります。しかも、2回目は一度しているのだからそれほど時間はかかりません。



## 3. いろいろな問題にチャレンジしよう！

中学校3年間で学習する数学には、計算・方程式・表やグラフ・図形・資料の活用・確率など、いろいろな内容があります。授業や宿題は、その中のほんの一部に過ぎません。

計算・方程式・表やグラフ・図形など、すべての領域のあらゆる問題ができるようになるため、家庭学習で、今習っている内容の宿題だけでなく、すすんでいろいろな単元の問題にチャレンジしましょう。

忘れていた問題やできなくなった問題を、再び「自分でできる問題」に変えていくと、広い範囲の学力をつけることができます。



## 数学の家庭学習における大切な6つのポイント！

- ① 数学では答えを写しても何もプラスになりません。解答は、自分が正解できたかどうか確認するためだけに使います。自分で正解できるまで頑張ることが力をつける方法です。
- ② 数学は必ず毎日勉強しましょう。数学は積み重ねの教科です。一日休んでしまうだけで数学の力は2～3日分落ちてしまいます。自主勉ノートに毎日、「演習（問題をやる）・確認（答えと比べる）・演習（できなかった問題をやり直す）」の方法で、書いて勉強するようにしましょう。
- ③ 毎日、簡単と思える問題から始めましょう。自分の脳に「できる！簡単だ！」と思わせることで、家庭学習を「うまく調子に乗せていく」ことができます。
- ④ 途中の式を丁寧に書きましょう。途中の式に大事な「数学的思考方」が潜んでいます。
- ⑤ 「できそうでできない。でもあと少し頑張ればできそうだ。」そんな問題を諦めずにやり抜きましょう。数学の力を伸ばす大事なポイントが、こんな問題の中に実は詰まっているのです。
- ⑥ 長い文で書かれた問題にもチャレンジしましょう。書かれた内容を図や表に整理したり、方法や理由を書いたりすることで、数学の「読解力・思考力・判断力・表現力」が身につきます。

